

# TAIYO HOLDINGS REPORT 2022

## INTERIM

第77期 中間決算のご報告

2022年4月1日～2022年9月30日



# 経営理念と経営基本方針

## 経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、  
革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノを  
グローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

## 経営基本方針

1

我がグループは利益を生み出し企業価値を高めることで、お客様・地域社会・株主及び従業員の幸福と繁栄に寄与します。

4

我がグループは常に従業員が挑戦し成長できる機会を生み出し、自ら目標を立て、その実現に向けて高い志を持つ集団を目指します。

2

我がグループは経営理念の達成にあたり法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

5

我がグループは「スピード & コミュニケーション」をキーワードに、グループ内各社の連携と全員のチームワークを活性化することで、企業総合力を高めます。

3

我がグループはグローバル体制を活用し、常に優れた製品とサービスの提供を行います。

6

我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を目指します。

## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第77期上半期のエレクトロニクス事業においては、リジッド基板用部材は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客の稼働率調整やPC・タブレット、民生機器等の需要減少により低調に推移しました。

半導体パッケージ基板用部材は、ドライフィルム製品の増加や、メモリ向けの製品が増加したことなどにより好調に推移しました。

医療・医薬品事業においては、医療用医薬品の製造販売事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の継続や他社同効薬の限定出荷等に伴う需要が増加したことなどにより好調に推移しました。

医療用医薬品の製造受託事業についても、製造委託元の製造販売要請や当社の生産調整に伴うプロダクトミックス変化の影響により好調に推移しました。

その結果、売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

第77期の中間配当金につきましては、発表どおり1株当たり37円00銭とすることを11月7日に開催した取締役会で決議しました。また、期末配当金につきましても、中間配当金と同水準を維持できるものと予想しております。



代表取締役社長  
佐藤 英志

なお、当社は、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に賛同を表明しており、TCFDコンソーシアムにも参画しております。この度、TCFDの情報開示フレームワークに沿って、気候変動に関する「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」の4項目について内容を決定いたしました。

引き続き、脱炭素社会の実現を重要な課題の一つとして位置づけ、情報開示の充実を行っていくとともに、より一層の環境に配慮した事業活動を行っていくことで、持続可能な社会を実現できるよう取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

## ソルダーレジストの役割

スマートフォンなどのデジタル家電や、車載電子機器などのエレクトロニクス製品にはプリント配線板が用いられています。当社グループの主力製品であるソルダーレジストは、このプリント配線板の回路表面を覆うことで外部環境から保護し、長期間の安定した使用を可能にします。

### 不要部分へのはんだの付着防止

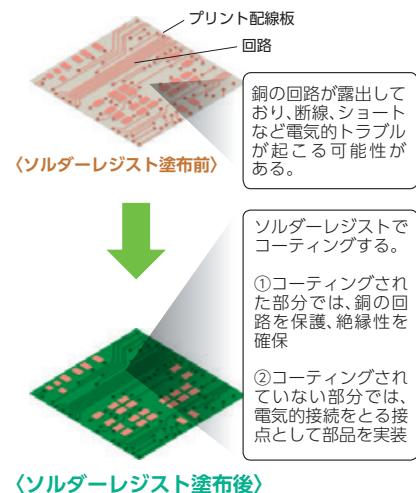
1 プリント配線板に各種の部品が実装される際に、電気的接続をとる接点以外にはんだが付着しショートが起きるのを防止する役割があります。

### ほこり、熱、湿気などから回路を保護

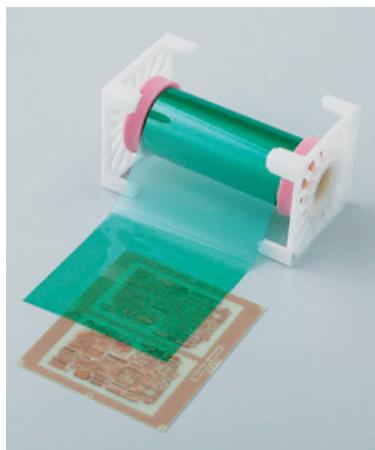
2 ほこり、熱、湿気などの外部環境から回路を保護します。これによって電子機器は長期にわたり安定した動作が可能になります。

### 回路間の電気絶縁性の維持

3 電子機器の小型化に伴い、一般基板の回路の幅は50~150 $\mu$ m程度、半導体パッケージ用基板ではさらに細線化しています。ソルダーレジストは回路間の絶縁性を維持し、ショートを防止します。



## ドライフィルム型ソルダーレジスト



半導体パッケージ用基板や、高い信頼性が求められる車載用の一部の電子機器用プリント配線板に使用されています。半導体の発する高温に長期間耐え、品質劣化が起りにくいことや反りが少ないなどの特徴があります。

また、ソルダーレジストの厚みのバラつきによる半導体の実装への影響をおさえるため、あらかじめフィルム状に加工し厚みを均一にしています。

### 特徴

- ・表面平滑性に優れている(凸凹が少ない)
- ・含有溶剤が少ないため、顧客での使用環境に優しい
- ・回路間の気泡が少ないため品質が向上する
- ・使用時の工程が少ないため生産性が良い

### 主な用途



# TAIYOのQ&A

**Q1** 太陽HDグループはどんなインキを扱っているのですか？

**A1** 一般的な印刷用のインキやペイント用のインキではありません。  
当社グループでは電子機器の心臓部の1つである **プリント配線板を保護するインキ** を扱っており、そのインキをソルダーレジストといいます。

**One Point** ソルダーレジストは緑色に限らず、様々な色があります。

**Q2** ソルダーレジストはどのような電子機器に使用されていますか？

**A2** ソルダーレジストで保護されたプリント配線板は、スマートフォンやスマートウォッチなどのデジタル家電や車載電子機器など世の中の **あらゆる電子機器** に使用されています。

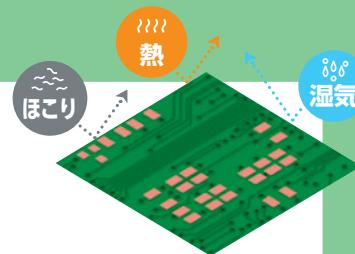
**One Point** 当社グループのソルダーレジストは **トップクラスの世界シェア** であり、**全世界で欠かせない製品** といえます。



**Q3** ソルダーレジストはなぜ必要なのですか？  
ソルダーレジストを使用しないとどうなりますか？

**A3** **ソルダーレジストを使用しないと**、ショートが起きるなど電子機器本体の **故障の原因** となります。  
ソルダーレジストは耐熱性や耐薬品性に優れており、プリント配線板をほこりや熱、湿気から保護しています。また、電気的なトラブルを防ぐ絶縁体としての役割を果たしています。

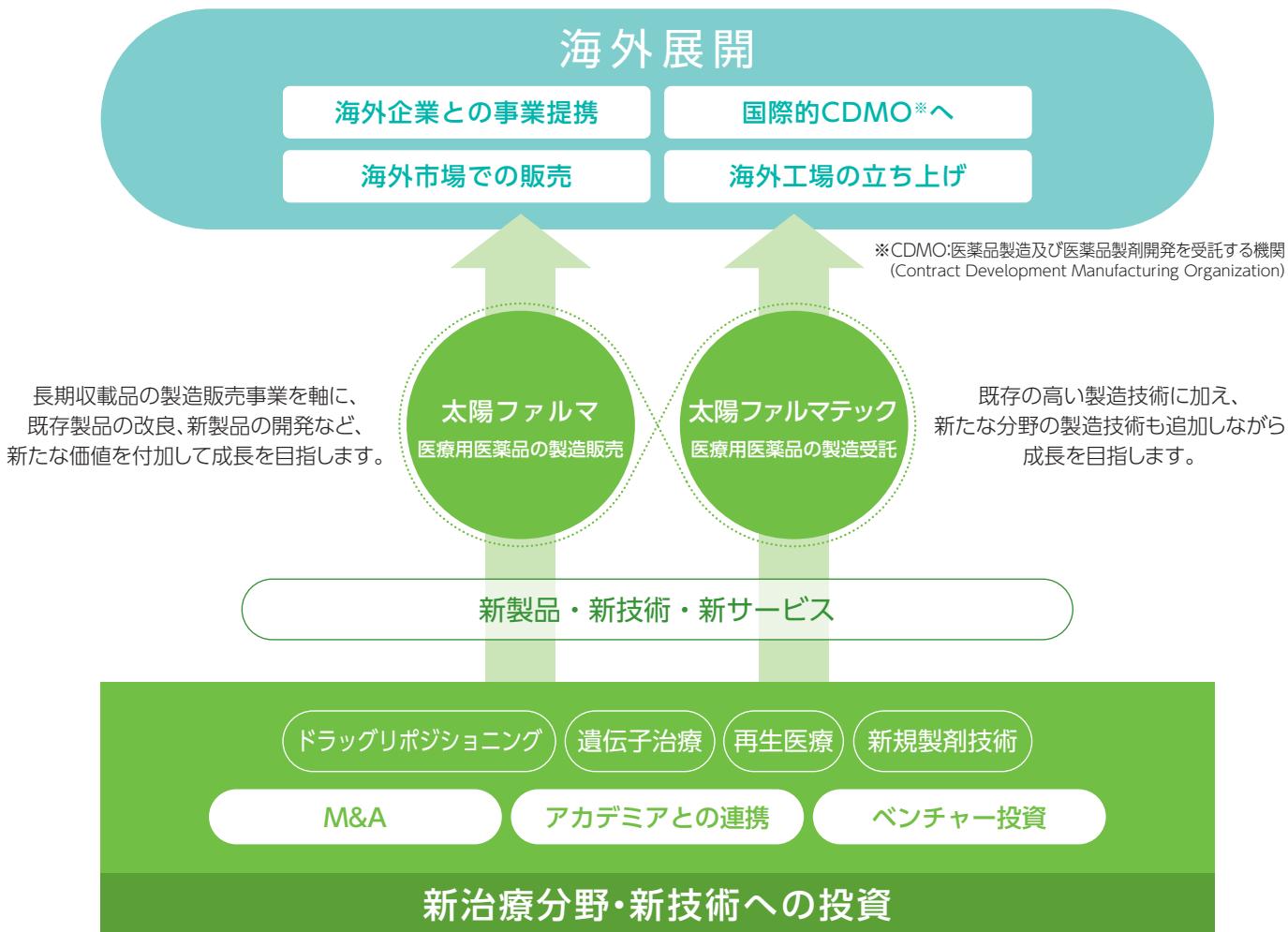
**One Point** 当社グループのソルダーレジストはあらゆる **電子機器が正常に安定して機能するために必要な製品** です。  
**電子機器の性能向上にはソルダーレジストの技術革新が必要** であり、トップメーカーである当社グループにとっての責務です。



## TAIYOの医療・医薬品事業

「我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を目指します。」という経営基本方針を基に、総合化学企業へと飛躍するため、医療・医薬品事業における積極的な事業展開を行っております。

### 📍 医療・医薬品事業のロードマップ



# 太陽ファルマテックが新福利厚生施設「T-LINKS」竣工

～食堂、体育館などを備え、避難施設としても活用～

太陽ファルマテックは、2022年11月に社内施設としての利用に加え、災害時には帰宅困難者等の一時滞在施設として利用可能な機能を備える新福利厚生施設「T-LINKS」を竣工しました。

T-LINKSは「みんなのリフレッシュテラス＝環境と人に優しい木陰の空間」をデザインコンセプトに、環境配慮を目的とした大きな庇屋根が特徴的な施設となります。施設内には社員用の食堂や更衣室をはじめトレーニング室・研修室・入浴施設のほか、バドミントン女子シングルス日本代表の奥原希望さん(当社所属)が初めて監修した体育館など当社独自の施設を設けています。

また、太陽ファルマテックは、2022年11月に大阪府高槻市及び近隣自治体と災害時における協定書を締結しました。大規模災害発生時には、本施設の一部を一時滞在施設として提供し、外部の帰宅困難者及び近隣住民をそれぞれ最大100名、最長3日間受け入れます。

太陽ファルマテックは、社会の一員としての役割を果たすべく行政機関等と連携し、今後も地域の災害対策に積極的に貢献してまいります。

## 環境配慮

特長的な庇屋根で日射軽減を図るとともに、建物周辺に潜在自然植生を用いた蒸散効果などにより、エネルギー消費50%の軽減を実現し効率よく建物の温度上昇を緩和します。



環境配慮(外観)



完成イメージ図

## 日本代表 奥原希望さん監修 体育館

一般的な床材よりも利用者の身体への負担やけがを軽減できる床材を使用しており、加えて、特長的な傾斜屋根により近隣住宅地への圧迫感の軽減や競技用照明の光源が光公害とならないように配慮されています。広さはバドミントンコート3面分あり(約900m<sup>2</sup>)、バドミントンのほか、様々な室内競技を楽しめます。



体育館

## 第77期 第2四半期累計期間の概況

### ■ 第77期 第2四半期累計期間の概況

エレクトロニクス事業においては、リジッド基板用部材は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客の稼働率調整やPC・タブレット、民生機器等の需要の減少により低調に推移しました。

半導体パッケージ基板用部材は、PC・タブレットやスマートフォン等の需要の減少や顧客において在庫水準の上昇傾向があるものの、ハイエンドスマートフォンの持続的な性能向上等によるドライフィルム製品の増加や、世界的なリモートワークの定着や5Gの普及に伴うデータ量の飛躍的な増大を背景にメモリ向け製品が増加したことにより好調に推移しました。さらに、エレクトロニクス事業全体では、上半期における急激な円安へのシフトが増収増益に寄与しました。

これらの結果、売上高は38,684百万円(前年同期比10.9%増)、セグメント利益は10,361百万円(前年同期比24.4%増)となりました。

医療・医薬品事業においては、医療用医薬品の製造販売事業は、前年同期比で薬価改定による販売単価の下落の影響があったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や他社同効薬の限定出荷等に伴う需要の増加や、適応拡大及び医療上の必要性からの需要の増加、前第2四半期連結会計期間以降にアストラゼネカPLCの

子会社であるアストラゼネカ株式会社より譲り受けた長期収載品4製品の製造販売承認の移管が完了したことにより好調に推移しました。

医療用医薬品の製造受託事業は、製造委託元の製造販売要請や当社の生産調整に伴うプロダクトミックス変化の影響により好調に推移しました。

これらの結果、売上高は12,388百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益は1,023百万円(前年同期比31.1%減)となりました。

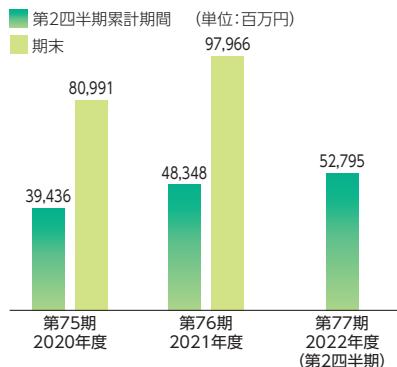
それらの結果、グループ連結の売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

### ■ 通期(第77期)の見通し

科目	76期実績 (百万円)	77期の見通し* (百万円)
売上高	97,966	109,400
営業利益	17,958	19,000
経常利益	18,062	18,800
親会社株主に帰属する当期純利益	11,803	12,800

※77期の見通しは、期中平均為替レートを1ドル当たり120円として算定しています。

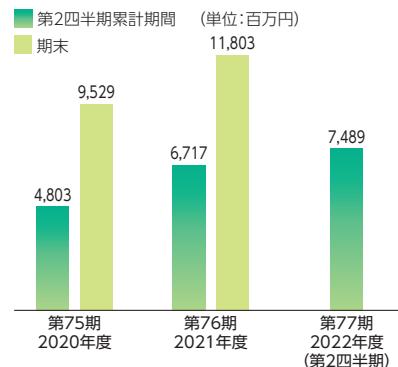
### 売上高



### 経常利益



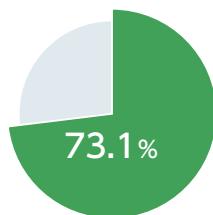
### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



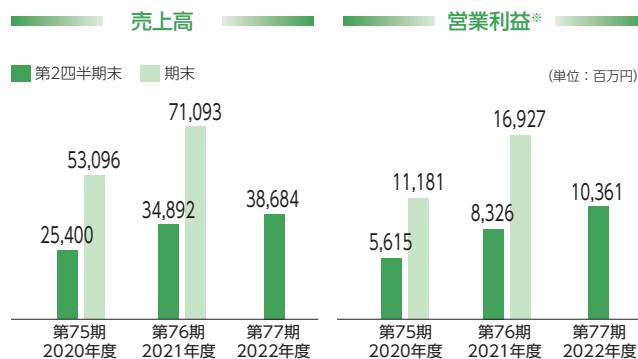
# 事業セグメントの概要

## エレクトロニクス事業

386億84百万円

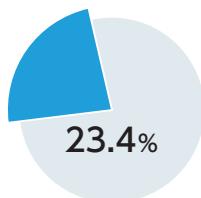


リジッド基板用部材は、顧客の稼働率調整やPC・タブレット、民生機器等の需要の減少により低調に推移しました。半導体パッケージ基板用部材は、ドライフィルム製品の増加や、メモリ向け製品が増加したことにより好調に推移しました。

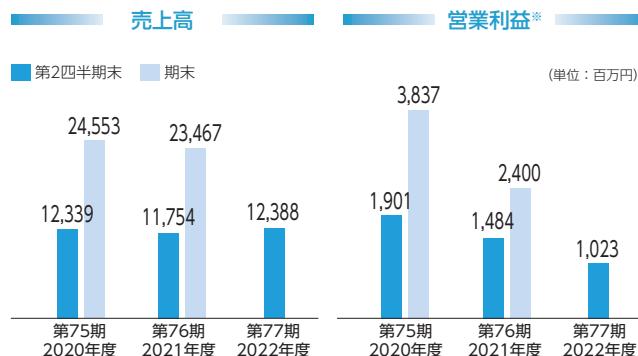


## 医療・医薬品事業

123億88百万円

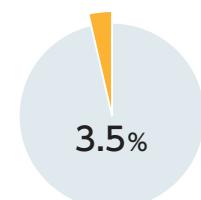


医療用医薬品の製造販売事業は、他社同効薬の限定出荷や、適応拡大及び医療上の必要性による需要の増加等により好調に推移しました。製造受託事業は、製造委託元の製造販売要請や当社の生産調整に伴うプロダクトミックスの変化の影響により好調に推移しました。



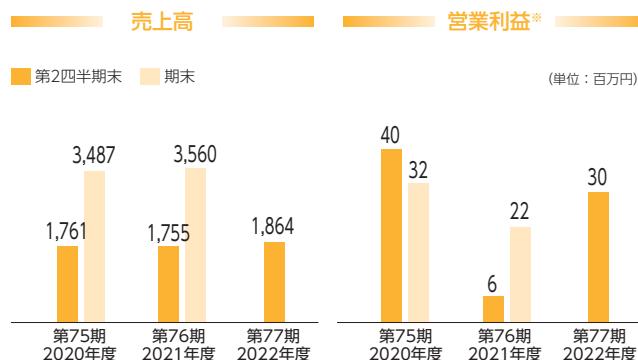
## その他

18億64百万円



上記以外の製商品並びに以下の売上高の合算になります。

- エネルギー事業
- 食糧事業
- ファインケミカル事業
- ICT事業



※第77期第1四半期より、従来は全社費用に含めていた一部の研究開発に関する費用を各報告セグメントに配賦しています。  
なお、第75期、第76期のセグメント利益も変更後の配賦方法により算定しているため、過去の開示数値と差異が生じています。

# 四半期連結決算概要

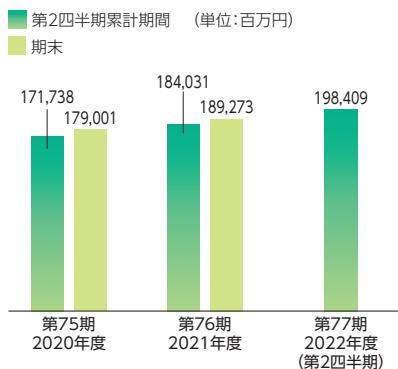
## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (2022年9月30日現在)	前期末 (2022年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	105,380	98,766
現金及び預金	57,278	51,557
受取手形及び売掛金	28,329	27,558
棚卸資産	16,331	16,384
その他	3,556	3,397
貸倒引当金	△115	△131
固定資産	93,028	90,507
有形固定資産	55,501	52,255
建物及び構築物	20,349	20,567
その他	35,152	31,688
無形固定資産	30,920	32,058
投資その他の資産	6,607	6,192
その他	6,793	6,366
貸倒引当金	△186	△174
資産合計	198,409	189,273

科 目	当第2四半期 (2022年9月30日現在)	前期末 (2022年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	49,335	49,403
支払手形及び買掛金	8,727	9,255
賞与引当金	1,214	1,308
その他	39,393	38,838
固定負債	55,694	54,403
長期借入金	49,336	48,383
退職給付に係る負債	107	116
その他	6,249	5,903
負債合計	105,029	103,806
<b>純資産の部</b>		
株主資本	85,135	79,916
資本金	9,761	9,612
資本剰余金	14,883	14,734
利益剰余金	65,725	60,321
自己株式	△5,235	△4,752
その他の包括利益累計額	8,241	5,549
その他有価証券評価差額金	357	321
為替換算調整勘定	7,848	5,187
退職給付に係る調整累計額	35	40
非支配株主持分	3	1
純資産合計	93,379	85,466
負債・純資産合計	198,409	189,273

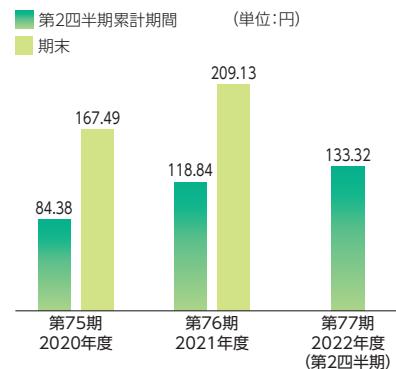
### 総資産



### 純資産



### 1株当たりの 四半期(当期)純利益\*



\* 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「1株当たりの四半期(当期)純利益」を算定しています。

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	52,795	48,348
売上原価	28,679	27,080
売上総利益	24,115	21,268
販売費及び一般管理費	13,566	11,967
営業利益	10,548	9,301
営業外収益	242	477
営業外費用	587	273
経常利益	10,203	9,505
税金等調整前四半期純利益	10,203	9,505
法人税、住民税及び事業税	2,674	2,367
法人税等調整額	39	320
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,489	6,717

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,600	8,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,456	△6,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,929	△4,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	863	105
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,077	△2,737
現金及び現金同等物の期首残高	51,152	54,309
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,245	51,572

## 利益配分に関する基本方針

当社は現金による株主の皆様への利益還元を重要政策と位置付け、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施していきます。株主資本配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。この方針に基づき、第77期の中間配当金につきましては1株当たり37円00銭\*とさせていただきます。

## 1株当たり配当金\* (単位:円)



\*当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しています。

## 会社概要 (2022年9月30日現在)

商 号	太陽ホールディングス株式会社
英文表記	TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
設 立	1953年9月29日
資 本 金	97億6,147万円
事業の内容	持株会社、グループ全体の経営方針策定及び経営管理
本店所在地	埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
従 業 員	160名*

\*上記従業員数の中には他社からの出向社員を含んでおり、関係会社への出向社員は含んでおりません。

## 役 員

代表取締役社長	佐藤英志
代表取締役副社長	齋藤 齊
取 締 役	竹原 栄治
取 締 役	有馬 聖夫
取 締 役	田中 智之
社外取締役	樋爪 昌之
社外取締役	土屋 恵子
社外取締役	青山 朝子
社外取締役	鎌田 由美子
社外監査役	杉浦 秀徳
社外監査役	堺 昭人
監 査 役	照沼 かおり
社外監査役	佐藤 郁美

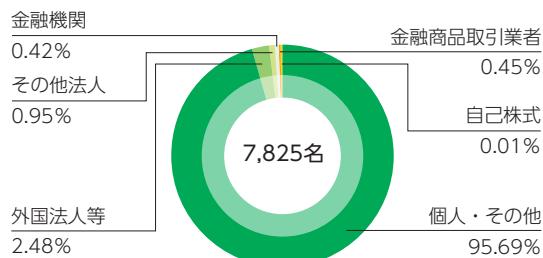
## 株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	58,185,501株
単元株式数	100株

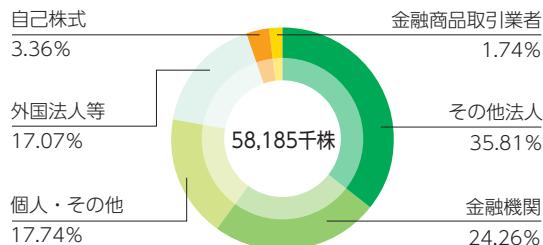
### 大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
DIC株式会社	11,234	19.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,833	10.37
株式会社光和	5,773	10.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,342	5.94
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	3,095	5.50
株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,232	3.97
四国化成工業株式会社	1,490	2.65
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	1,193	2.12
東新油脂株式会社	1,077	1.92
川原 敬人	804	1.43

### 所有者別株主数の構成比



### 所有者別所有株式数の構成比





## ～株主総会資料の電子提供制度について～

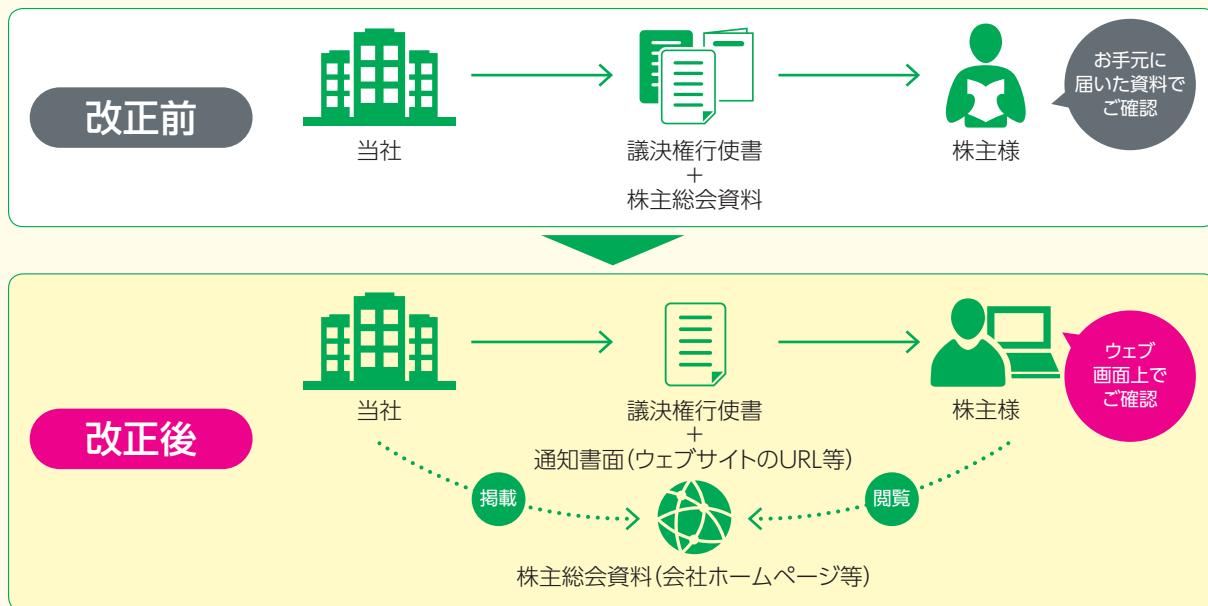
### 電子提供制度とは

2022年9月1日の会社法改正に伴い、今まで書面でご送付していた株主総会資料<sup>\*1</sup>につきまして、通知書面によりウェブサイトのURL等を株主様にお知らせし、株主様は原則として当該ウェブサイトで株主総会資料を閲覧いただく制度で、全ての上場会社において導入が義務化されました。

継続して書面でのお受け取りを希望される場合には、株主総会の基準日までに書面交付請求<sup>\*2</sup>のお申し出が必要となります。

※1 株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類を指します。

※2 お申し出いただいた株主様には、当社より株主総会資料を書面でお送りします。



電子提供制度の導入に関わる今後の株主総会資料の取り扱いにつきましては、引き続き株主様に分かりやすいご提供を第一に、その内容を十分に検討のうえ、対応してまいります。

その他詳細につきましては、本書に同封いたしました一般社団法人信託協会のリーフレットも合わせてご確認ください。またお問い合わせにつきましては下記の専用ダイヤルをご利用ください。

## 電子提供制度に関するお問い合わせ

株主総会資料の書面交付を希望される株主様におかれましては、議決権行使基準日までに「書面交付請求」をしていただくことにより、株主総会資料を書面で受け取ることができます。

株主総会資料の電子提供制度に関する書面交付請求そのほかご不明な点がございましたら、以下の当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先

**三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部**

電子提供制度専用ダイヤル

 **0120-696-505**

(受付時間: 土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

よくあるご質問

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

もしくは株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。

QRコードはこちら▶



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

**株式についてのご案内**

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	
上場取引所	株式会社東京証券取引所 プライム市場
公告掲載URL	<a href="https://www.taiyo-hd.co.jp">https://www.taiyo-hd.co.jp</a> (電子公告によることができない 事故その他やむを得ない事由が 生じた場合は、日本経済新聞に 公告いたします。)

**お知らせ**
**株式に関する各種お手続きについて**
**●特別口座に記録された株式**

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>住所・氏名等のご変更</li> <li>特別口座の残高照会</li> <li>配当金の受領方法の指定(*)</li> </ul>	特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿 管理人	新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(\*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

**●証券会社等の口座に記録された株式**

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> <li>上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
	□	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

**株主総会資料の電子提供制度について**

お問い合わせ先: 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電子提供制度専用ダイヤル 電話 0120-696-505 (通話料無料)

**株主様アンケートご協力をお願い**

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。  
(所要時間は5分程度です)

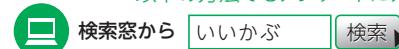
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信  
[件名][本文]は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから  
カメラ機能でQRコード読み取り→  
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL: info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。